
ヒメカミ

アヴィエス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒメカミ

【Nコード】

N5490H

【作者名】

アヴィエス

【あらすじ】

世界は神々に作られた一つの箱庭だった。神々にとって無くても変わらない。そんな世界…の筈だったしかし、神々は自らの世界をこの箱庭の世界と融合した。突然の神々の出現…それは、世界に混乱を呼ぶ。神々は覇権を巡って戦争を引き起こし、人々は各々の望む神へと信仰した。降神戦争と呼ばれたこの戦争によりある神は邪神と呼ばれ地を追われ、ある神は人々の信仰を受け絶大な権力を得た。…それから数千年…融合した世界にある3つの大陸。その一つであるグラズヘイム。その大陸の海に面した小さな国。名をウイン

ディオ・ガルス

ディア王国といった。物語はこの国から始まる

序章 亡国の戦記 1

融合した世界にある3つの大陸。その一つであるグラズヘイム。その大陸の海に面した小さな国・ウィンディア王国。この国の王城の一角の部屋から産声が響き渡る。

寝台に横たわる女性は疲労しながらも慈愛に満ちた表情で産着に包まれた我が子を抱いている。

其処へドタドタと慌ただしく男が入ってきた。

男はかなり老齢の様だが、豪華な身なりで、一目で貴族か王族を思わせる。

「産まれたか！」

「クスクス。そんなに慌てなくても赤ちゃんは何処へも生きませんよ」

男の慌ただしい様子に微笑みながら女性は男と話す。

「いや、いや、この子は我が国の柱となるに決まっておるからな。」

そりゃ、焦るわい。」

「そうですね、この子はいずれこの国に無くてはならない存在になる筈ですから…。」

女性はそう言うのと複雑な表情を浮かべる。

「…済まん。お前を苦しめる様な事をしてしまった事を忘れていた。」

男はそう言うのと頭を下げた。

「止めてください。その事は私も同意した事です。言うなれば私も同罪なのですから。」

「…そうか…そうだな…」

「それに…」

「それに？」

「この子はこの子ですから。やっぱり、この子を見ていると嬉しくて」

そう言うと女性は男を見る。

「ありがとう」

男の呟きに女性は微笑む。

男はこの国の王で想王と呼ばれている。女は想王の側室でリナといった。

「おお、そうだ。この子は何と言う名前にしようか？」

「この子の名前は…ユイ。ユイにしましょう。」

「ユイ？変わった名だな。お前の国の名か？」

「ええ…」

「そうか…。お前がそうしたいならユイ…と名付けよう。」

—それから3年後—

（王城・王の間）

…コンコン

想王が雑務をこなしているとドアがノックされた。

「誰だ？」

「父上。私です」

「フィーンか。入れ」

想王が許可するとフィーンと呼ばれた白銀の髪の青年が入ってきた。

「どうした？」

「は、実はオアノス神殿国より書状が参りました。」

「ほう、彼の国は我が国を嫌っておったはずだが？」

「はい。我が一族は邪神の使徒が祖先故…」

「うむ…」

「ともかく、この書状をお読みください。」

想王はフィーンから書状を受け取るとすぐに一読した

「オアノスはどのような？」

「来月にあるわしの即位記念祭に両国の親睦の為にラッセル伯が来るそうだ」

「ラッセル伯が！ラッセル伯と言えばオアノス四傑の一人ではないですか！」

「うむ」

「父上、これは罫ではないでしょうか？だいたい、今まで敵対してきたオアノスが親睦を求める事自体おかしな事ですから。」

「うむ……。とはいえ、向こうが親睦を求めるのを断る訳にはいくまい。それに、ラッセル伯はオアノスの中でも親ウインディアの中心人物だ。」

「……」

「まあ、そう心配するな。念のため警備は厳重にしておくでしょう」「わかりました。全兵士に当日の警備を厳重にするよう通達しておきます。」

「うむ。頼むぞ」

「では失礼します。」

フィーンは軽く会釈すると部屋を出ていった。

想王は視線を窓に移すとほうと溜め息をついた。

……………

「警戒などいくらしてもこの難を父上は逃れられまい」
部屋を出たフィーンは笑みを浮かべていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5490h/>

ヒメカミ

2010年10月28日07時47分発行